



イラスト：バイクずきおくさん

イシニクル

(石川町)

町内に鉱山 歴史学ぶ

石川町では、たくさん鉱物が見つかります。地下深くでできる「巨晶花こう岩（ペグマタイト）」が産出され、その中から石英や長石などいろいろな種類の鉱物がとれます。石川町のペグマタイトからは、大きな鉱物が出てくることで知られています。

明治時代から1970年代ごろまで、町内では石英や長石が採掘されました。70年代以降は海外から鉱物が輸入されるようになり、町内に100以上あった鉱山は全て閉鎖されました。

町歴史民俗資料館「イシニクル」では、町内外で見つかった鉱物が展示されているほか、映像や仮想現実（VR）で、鉱物や町の歴史を学べます。

【メモ】長石は焼き物の上薬の材料として使われていました。石川小には鉱石クラブがあります。

▲ 9月18日 福島民友新聞掲載

きじをよんでおもったこと、みんなとはなしてかんじたことをかこう。(120字くらい)